



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 エスペック株式会社  
 コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 雅昭  
 (氏名) 大島 敬二

上場取引所 東  
 TEL 06-6358-4741

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	7,419	17.3	△55	—	△161	—	△182	—
28年3月期第1四半期	6,325	13.5	△111	—	△10	—	△55	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △735百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△8.03	—
28年3月期第1四半期	△2.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	44,794	34,387	76.8	1,508.98
28年3月期	48,045	35,633	74.2	1,564.55

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 34,387百万円 28年3月期 35,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	23.00	32.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	12.00	—	24.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,000	11.6	1,400	23.6	1,450	13.8	1,000	24.7	43.89
通期	39,000	△0.1	3,600	2.2	3,700	3.6	2,600	7.9	114.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	23,781,394 株	28年3月期	23,781,394 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	993,014 株	28年3月期	1,005,514 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	22,783,847 株	28年3月期1Q	23,109,081 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、中国経済の減速や円高により先行き不透明な状態が継続いたしました。また、英国の国民投票におけるEU離脱の結果を受け、円高の進行や株価の大幅下落など金融市場の混乱が見られ、世界経済への影響が懸念される状況となりました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が行われるとともに、エレクトロニクス関連メーカーでも投資が継続しました。

こうした中、当社は、グループ連携の強化により海外市場での売上拡大に取り組むとともに、エコカーを中心とする自動車市場や医薬品を中心とするライフ市場において事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は10.1%増加し9,615百万円、売上高は17.3%増加し7,419百万円となりましたが、利益面につきましては、55百万円の営業損失、また、為替差損の影響などにより182百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	8,734	9,615	10.1
売上高	6,325	7,419	17.3
営業損失 (△)	△111	△55	—
経常損失 (△)	△10	△161	—
親会社株主に帰属する四半期 純損失 (△)	△55	△182	—

セグメント別の業績

当第1四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装置事業	7,775	6,063	△35
サービス事業	1,494	1,193	11
その他事業	397	215	△31
連結消去	△51	△52	0
計	9,615	7,419	△55

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品が好調に推移いたしました。海外市場では、中国を中心に輸出が堅調に推移するとともに、米国子会社の売上高が前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。こうした結果、環境試験器全体では受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、燃料電池評価装置が好調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、スマートフォン関連メーカーや自動車関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は10.3%増加し7,775百万円となり、売上高は20.5%増加し6,063百万円となりました。利益面につきましては、35百万円の営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	7,047	7,775	10.3
売上高	5,032	6,063	20.5
営業損失 (△)	△135	△35	—

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高は前年同四半期連結累計期間比で増加し、売上高は前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

受託試験・レンタルにつきましては、自動車市場において主力のテストコンサルティングが堅調に推移し、受注高は前年同四半期連結累計期間並みとなり、売上高は前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は5.7%増加し1,494百万円、売上高は2.1%増加し1,193百万円となりました。営業利益につきましては、原価率の悪化などにより前年同四半期連結累計期間比で70.8%減少し11百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,414	1,494	5.7
売上高	1,168	1,193	2.1
営業利益	37	11	△70.8

<その他事業>

植物工場事業が堅調に推移し、前年同四半期連結累計期間比で受注高は10.3%増加し397百万円となり、売上高は28.3%増加し215百万円となりました。利益面につきましては、原価率の悪化などにより31百万円の営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	360	397	10.3
売上高	167	215	28.3
営業損失 (△)	△14	△31	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は44,794百万円で、前連結会計年度末と比べ3,251百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少649百万円、受取手形及び売掛金の減少3,100百万円、電子記録債権の増加583百万円などによるものであります。また、負債は10,406百万円で前連結会計年度末と比べ2,004百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,143百万円、未払法人税等の減少537百万円などによるものであります。純資産は34,387百万円で前連結会計年度末と比べ1,246百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の減少708百万円、為替換算調整勘定の減少404百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、当初の業績予想を修正しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成28年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,299	7,649
受取手形及び売掛金	15,968	12,868
電子記録債権	989	1,573
有価証券	1,901	1,901
商品及び製品	896	1,157
仕掛品	1,792	1,941
原材料及び貯蔵品	1,656	1,754
その他	2,184	2,144
貸倒引当金	△49	△42
流動資産合計	33,640	30,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,689	3,600
土地	4,462	4,452
その他(純額)	1,929	1,795
有形固定資産合計	10,081	9,848
無形固定資産		
のれん	706	643
その他	419	386
無形固定資産合計	1,126	1,029
投資その他の資産	3,197	2,966
固定資産合計	14,405	13,844
資産合計	48,045	44,794
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	2,397
電子記録債務	3,208	3,159
未払法人税等	581	44
賞与引当金	417	635
役員賞与引当金	9	—
製品保証引当金	309	292
受注損失引当金	41	33
その他	2,674	2,289
流動負債合計	10,783	8,851
固定負債		
長期借入金	86	86
退職給付に係る負債	55	56
役員退職慰労引当金	12	12
資産除去債務	52	52
その他	1,420	1,346
固定負債合計	1,628	1,555
負債合計	12,411	10,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	6,914	6,914
利益剰余金	22,441	21,732
自己株式	△1,090	△1,075
株主資本合計	35,161	34,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823	664
土地再評価差額金	△659	△659
為替換算調整勘定	532	128
退職給付に係る調整累計額	△224	△212
その他の包括利益累計額合計	472	△80
純資産合計	35,633	34,387
負債純資産合計	48,045	44,794



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,325	7,419
売上原価	4,275	5,073
売上総利益	2,050	2,346
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	643	676
賞与引当金繰入額	60	61
製品保証引当金繰入額	35	45
のれん償却額	—	16
その他	1,421	1,601
販売費及び一般管理費合計	2,161	2,401
営業損失(△)	△111	△55
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	44	27
為替差益	24	—
その他	28	23
営業外収益合計	105	54
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	155
支払手数料	2	2
その他	1	3
営業外費用合計	4	161
経常損失(△)	△10	△161
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	8
特別損失合計	0	8
税金等調整前四半期純損失(△)	△10	△169
法人税、住民税及び事業税	43	13
四半期純損失(△)	△54	△182
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55	△182

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△54	△182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	212	△159
為替換算調整勘定	3	△404
退職給付に係る調整額	0	11
その他の包括利益合計	216	△552
四半期包括利益	162	△735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160	△735
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,032	1,125	167	6,325	—	6,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	43	0	43	△43	—
計	5,032	1,168	167	6,368	△43	6,325
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△135	37	△14	△111	0	△111

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,061	1,143	214	7,419	—	7,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	49	0	52	△52	—
計	6,063	1,193	215	7,471	△52	7,419
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△35	11	△31	△55	0	△55

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。